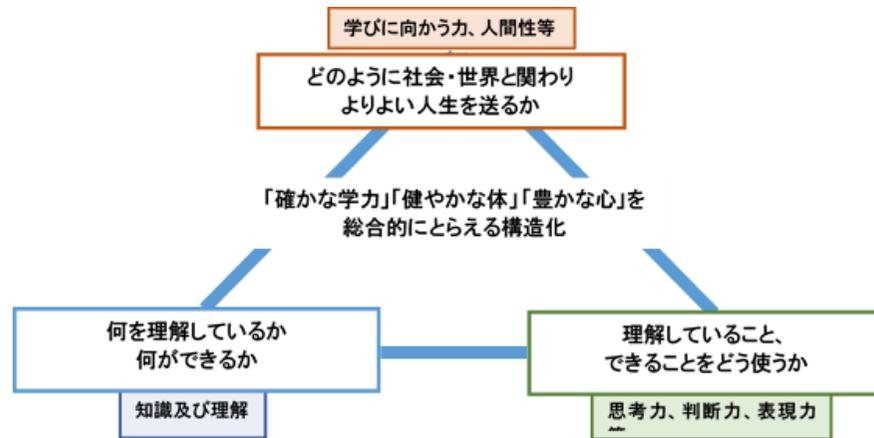


## 美術Ⅲ 観点別評価規準例 資料

### 三つの柱

学習指導要領の改訂では、子供たちにどのような力を育むのかという教育目標を明確にし、それを広く社会と共有・連携していけるようにするために、学習指導要領等に基づく指導を通じて子供たちが何を身に付けるのかを明確に示していくことが求められた。そのため、学びを通じて「何ができるようになるか」という視点から、育成すべき資質・能力が整理された。



知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、「何のために学ぶのか」という学習の意義を学校と社会とが共有しながら、授業の創意工夫や教科書等の教材の改善を引き出していけるよう、全ての教科等の目標や内容が、「①知識及び技能」、「②思考力、判断力、表現力等」、「③学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理された。

### 芸術科「美術」が目指す資質・能力

芸術科「美術」で育成を目指す資質・能力を「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力」と規定し、目標を(1)「知識及び技

能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」、(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理して、これらが実現できるように示された。

また、各科目の資質・能力の育成に当たっては、生徒が見方・考え方を働かせて学習活動に取り組めるようにすることが示された。美術で育む資質・能力を捉える上で、キーワードとなるのが「造形的な見方・考え方」である。「造形的な見方・考え方」は、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくり出すこととされている。造形的な視点とは、形や色、材料や光などといった造形の要素に着目し、それらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりする視点のことである。つまり、造形的な視点を基に思考・判断・表現することが「造形的な見方・考え方」を働かせることになると言える。

### 三つの柱で示す「美術」の目標

「(1) 知識及び技能」において、知識は造形的な視点を豊かにするための知識であり、技能は表現における創造的に表す技能に結びついている。

「(2) 思考力、判断力、表現力等」は、表現における発想や構想の能力、鑑賞における見方や感じ方に関する能力となっている。「(3) 学びに向かう力、人間性等」は、学習に主体的に取り組む態度や美術を愛好する心情、豊かな感性や情操などに関するものを示している。

### 「美術」の目標と内容構成

#### <美術Ⅲの目標>

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働

きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

目標は内容の各項目と個別に関連している。「(1) 知識及び技能」の知識は新設の〔共通事項〕に関連し、技能はA表現の各項目のイに関連している。

「(2) 思考力、判断力、表現力等」は、A表現では各項目のア、B鑑賞では項目全体に関連付いている。これは、「思考力、判断力、表現力等」の資質・能力を豊かに育むためには、表現の発想や構想と鑑賞に関する資質・能力を相互に関連して働かせて学習を進めることが大切だからである。「(3) 学びに向かう力、人間性等」は授業全体に関連付けて育成するように位置付けられており、A表現、B鑑賞及び〔共通事項〕を指導する中で、一体的、総合的に育てていくものとなっている。

#### 〔共通事項〕について

新たに設定された〔共通事項〕は、表現と鑑賞のどちらの学習にも必要となる造形的な視点に関する指導事項であり、造形的な視点を豊かにするために必要な知識として位置付けられている。ここでの知識とは、単に新たな事柄として知ることや言葉を暗記することに終始するものではなく、生徒一人一人が表現及び鑑賞の活動を通して、形や色などといった造形の要素に着目してその効果を捉えたり、全体のイメージや作風、様式などで捉えたりする視点を理解し、実感を伴いながら理解を深め、生きて働く知識として身に付けるものである。

〔共通事項〕の「共通」とは、発想や構想、技能、鑑賞に関する資質・能力に共通して働くという意味で、A表現とB鑑賞の学習、それぞれに必要な資質・能力を育成することを示したものである。そのため、〔共通事項〕

はそれのみで取り上げて題材にするものではなく、A表現とB鑑賞の双方の学習を通して指導すること、と記されている。今後は、〔共通事項〕に示される資質・能力を理解し、表現と鑑賞の学習の相互の関連をより強く意識した指導が求められる。

#### ○「美術」の目標と指導内容の関連（美術Ⅰ～Ⅲ共通）

領域等	項目	指導内容	目標との関連
A 表現	(1) 絵画・彫刻	ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能	「技能」
	(2) デザイン	ア 目的や機能などを考えた発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能	「技能」
	(3) 映像メディア表現	ア 映像メディアの特性を踏まえた発想や構想	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能	「技能」
B 鑑賞	(1) 鑑賞	ア 美術作品などに関する鑑賞	「思考力、判断力、表現力等」
		イ 美術の働きや美術文化に関する鑑賞	
〔共通事項〕		ア 造形の要素の働きの理解	「知識」
		イ 全体のイメージや作風、様式などで捉えることの理解	

#### 学習評価について

学習評価については、指導したことを評価し、評価したことを指導に生かしていく「指導と評価の一体化」が強調されている。このことから、目標の三つの柱と対応して学習評価の観点も3観点で整理された。

<美術Ⅰ～Ⅲの評価の観点の趣旨>

美術に関する各科目の特性に応じた評価の観点の趣旨。

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
美術Ⅰ	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
美術Ⅱ	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
美術Ⅲ	○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ○意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表わしている。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

<4観点から3観点到>

観点別学習状況の評価の観点もこれまでの4観点から、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理された。特に留意したいのは、「知識」が今回の改訂で新設された〔共通事項〕と対応していることである。

また、従前の4観点では、第2観点と第4観点を「発想や構想の能力」及び「鑑賞の能力」と位置付けていたが、今回の改訂では「A表現」及び「B鑑賞」相互の関連を図り、特に発想や構想と鑑賞とを総合的に働かせて「思考・判断・表現」の観点として評価を行う事が求められている。

■「知識・技能」の評価

○「知識」は〔共通事項〕で示された造形的な視点を豊かにするための知識として、造形要素の働きを理解することや、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などでとらえることが理解できているかを評価する。「技能」は発想や構想したことなどを作品に表すための創造的に表す技能を評価する。

■「思考・判断・表現」の評価

○「A表現」の発想や構想を通して育成する力と、「B鑑賞」の鑑賞を通して育成する力で構成され、双方に働く中心となる考えなどを深め、その状況を評価する。

■「主体的に学習に取り組む態度」の評価

○美術の創造活動の喜びを味わいながら、「知識・技能」を身に付けたり、「思考・判断・表現」を高めようとする学習活動に主体的に取り組もうとする態度を評価する。

#### 4 観点（平成 22 年）の「美術Ⅲ」評価の観点の趣旨

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

#### 3 観点（平成 31 年）の「美術Ⅲ」の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
・表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	

※旧 4 観点と新 3 観点がどのように対応しているのかを矢印で示した。

- 4 観点の「美術への関心・意欲・態度」は、3 観点の「主体的に学習に取り組む態度」に対応。
- 4 観点の「発想や構想の能力」は、3 観点の「思考・判断・表現」の前半部分に対応。
- 4 観点の「創造的な技能」は、3 観点の「知識・技能」の技能に対応。
- 4 観点の「鑑賞の能力」は、3 観点の「思考・判断・表現」の後半部分に対応。
- 3 観点の「知識・技能」の「知識」は、〔共通事項〕に対応（4 観点との直接的な対応はない）。

## 『高校生の美術3』（美Ⅲ-703） 題材の目標と評価規準（例）

・本資料では3観点の評価規準例をすべての内容について示していますが、毎回の授業ですべての観点を評価する必要はなく、授業展開に応じて必要な観点を  
選択・アレンジして使用してください。

・本資料は制作中のものであり、今後改訂する可能性があります。

・表内で用いている略号は以下となります。

「知」＝「知識・技能」の知識に関する評価規準

「技」＝「知識・技能」の技能に関する評価規準

「発」＝「思考・判断・表現」の発想や構想に関する評価規準

「鑑」＝「思考・判断・表現」の鑑賞に関する評価規準

「態表」＝ 表現における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

「態鑑」＝ 鑑賞における「主体的に学習に取り組む態度」に関する評価規準

「知・技」＝「知識・技能」に関する評価規準

### 教科書 p 6~9 鑑賞 切り取られた風景

目標		
<b>知識及び技能に関する目標</b> 風景を切り取ることで生じる効果、全体のイメージなどを捉える。		
<b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 切り取られた風景の効果や、それによってつくられる空間や風景のよさや美しさについて考える。		
<b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 切り取られた風景の効果、そのよさや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」風景を切り取ることで生じる効果、全体のイメージなどを捉えることを理解している。	「鑑」切り取られた風景の効果や、それによってつくられる空間や風景のよさや美しさについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」切り取られた風景の効果、そのよさや美しさなどを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 10～11 表現・鑑賞／絵画 興味のあることを描く

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩などの効果、全体のイメージや作風などを捉え、表現方法を追求して創造的に表す。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 対象への印象などを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 興味のあるものの特徴や美しさを捉えて表す学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や色彩などの効果、全体のイメージや作風など、対象や事象を捉える造形要素の働きについて理解を深めている。</p> <p>【技】主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。</p>	<p>「発」対象への印象などを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、主題を生成し、個性を生かして表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」作者の意図や構想の独自性と表現の工夫などについて、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」興味のあるものの特徴や美しさを捉えて表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」主体的に作品の鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 12～13 鑑賞／絵画 画家が追い求めたもの

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 構図や色彩などの効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 描かれた対象や作風などから、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張や創造的な表現の工夫などについて考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 作者の主張や表現の工夫などに着目して鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や色彩、構図などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	<p>「鑑」描かれた対象や作風から、造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の主張や創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態鑑」作品に表された作者の主張や表現の工夫などに着目し、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 14～15 鑑賞／絵画 名画から受けるインスピレーション

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 構図や色彩の効果、全体のイメージや作風などを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 基になった作品の特徴などと、それを基に制作した作品の意図や表現の工夫について考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 既存の作品から発想して制作された作品を鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」構図や色彩の効果などの造形要素の特徴を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	「鑑」基になった作品の特徴などと、それを基に制作した作品の意図や表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」既存の作品から発想して制作された作品の鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 16～19 鑑賞／絵画 継承と創造

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 絵画に描かれた特徴などを基に全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解する。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 時代を超えて伝えられる文化の価値を感じ取り、継承、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深める。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 美術文化を継承、創造することの意義について考える鑑賞の学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	「鑑」時代を超えて伝えられる美術文化の価値を感じ取り、継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」美術文化を継承、創造することの意義に着目し、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 20～21 鑑賞／絵画 西洋のまなざしとの出会い

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 奥行きや明暗などの効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 奥行きや明暗などの効果に着目し、西洋画と出会った日本の画家たちの表現の工夫について考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 西洋の表現を学んだ日本の画家たちの工夫などを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」奥行きや明暗などの効果、全体のイメージなどで捉えることを理解している。	「鑑」奥行きや明暗などの効果に着目し、西洋画と出会った日本の画家たちの表現の工夫や、美術文化の継承、発展、創造することの意義について考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」西洋の表現を学んだ日本の画家たちの工夫などに着目し、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 22～23 鑑賞／彫刻 彫刻と着彩

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 着彩や形による表現の効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 彫刻における着彩に着目し、その効果とともに形による表現のよさなどについて考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 着彩の有無や効果に着目して彫刻を鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」着彩や形による表現の効果、全体のイメージなどでとらえることを理解している。	「鑑」彫刻における着彩に着目し、その効果とともに形による表現のよさなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」彫刻の着彩の有無や効果に着目し、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 24～25 表現・鑑賞／彫刻 ものと場所による表現

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩、場所の特徴、全体のイメージなどを捉え、表現方法を追求して創造的に表す。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> ものと場所がもつ意味や関係について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> ものと場所のつくりだす効果に着目して表現する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形や色彩、場所の特徴、全体のイメージなどを捉えることを理解している。</p> <p>「技」主題に合った表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。</p>	<p>「発」ものと場所がもつ意味や関係について考え、主題を生成し、個性を生かして表現の構想を練っている。</p> <p>「鑑」ものと場所がもつ意味や関係について考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態表」ものと場所のつくりだす効果に着目して表す創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> <p>「態鑑」ものと場所のつくりだす効果に着目して作品を鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 26～27 鑑賞／彫刻 作品の中に入り込んで感じ取るメッセージ

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形体や大きさ、重心などに着目し、体全体で感じる感覚やイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 大きさなどから生じる感覚などを基に、作品がつくりだす空間や環境、作者の表現意図、立体表現の可能性などについて考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 大きな彫刻などを体全体の感覚で捉えて鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>「知」形体や大きさ、重心などの表現効果を基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</p>	<p>「発」大きさなどから生じる感覚などから、作品がつくり出す空間や環境のよさや美しさを体全体で感じ取り、作者の表現意図や立体表現の可能性などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>「態鑑」大きな彫刻などを体全体の感覚でとらえ、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。</p>

教科書 p 28～29 鑑賞／彫刻 自然が生み出す美 人がつくりだす美

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩、構成、大きさや空間、それらがつくりだすイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 景観から感じ取る美しさについて、自然の造形と人がつくりだした造形とを比較して考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 自然の美と人がつくりだした美を比較鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」形や色彩、構成、大きさや空間、それらがつくり出すイメージなど、対象や事象を捉える造形要素の働きについて理解を深めている。	「鑑」景観から感じ取る美しさについて、自然の造形と人がつくり出した造形とを比較して考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」自然の美と人がつくりだした美を比較鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 30～31 表現・鑑賞／デザイン 情報の視覚化

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 分かりやすさや美しさに着目し、形や色彩の効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を追求して創造的に表す。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 伝えたいデータの内容と、分かりやすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 伝えたい情報をグラフやイラストなどで効果的に表す学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」分かりやすさや美しさに着目し、形や色彩の効果、全体のイメージなどで捉えることを理解している。 「技」主題にあった表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	「発」伝えたいデータの内容と、分かりやすさや美しさの調和などを考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」伝達の目的や条件などを基に、発想や構想の独自性と表現の工夫などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」目的や条件などを基に、伝えたい情報をグラフやイラストなどで効果的に表すデザインの表現の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」情報を伝えるための方法や工夫を感じ取るデザインの鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 32～33 鑑賞/デザイン デザインを支える技術

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩、構造などの造形的な特徴、全体のイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 用途や構造、強度などと、それを支える技術などに着目し、プロダクトデザインの可能性について考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 技術に着目してプロダクトデザインを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」デザインされた形や色彩、構造などの造形的な特徴を基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。	「鑑」用途や構造、強度などと、それを支える技術などに着目し、機能と調和の取れた洗練された美しさなど感じ取り、プロダクトデザインの可能性について考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」製造技術に着目し、プロダクトデザインの可能性について考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 34～35 鑑賞/デザイン 自然をまとう建築

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩、光、材質などの効果や、その場の特徴、全体のイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 自然との調和の観点から建物のよさや美しさなどを感じ取り、建築と自然、生活との関わりについて考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 建築と自然、生活との関わりについて鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」形や色彩、光、材質などの効果、その場の特徴、全体のイメージなどで捉えることを理解している。	「鑑」自然との調和の観点から建物のよさや美しさを感じ取り、作者の主張や建築と自然、生活との関わりなどについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」建築と自然、生活との関わりについて、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 36～37 鑑賞/デザイン 歌舞伎の造形

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 衣装や化粧、舞台装飾などに見られる造形的な効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 歌舞伎における造形の働きに着目し、役柄や舞台を演出するための工夫などについて考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 歌舞伎の衣装や化粧などの造形的な工夫や様式美などを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」衣装や化粧、舞台装飾などに見られる造形的な効果、全体のイメージなどを捉えることを理解している。	「鑑」歌舞伎における造形の働きに着目し、役柄や舞台を演出するための工夫などについて考える、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」歌舞伎の衣装や化粧などの造形的な工夫や様式美などを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 38～39 表現・鑑賞/映像メディア表現 報道写真が写し出すもの

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 視点や構図、撮影の効果、全体のイメージなどを捉え、撮影方法を追求して創造的に表す。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> テーマをより効果的に表すために、被写体や構図などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 目に見えるものの奥にある真実を写真に表す学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」視点や構図、撮影の効果、全体のイメージなどを捉えることを理解している。 「技」主題に合った撮影方法を追求し、個性を生かして創造的に表している。	「発」テーマをより効果的に表すために、被写体や構図などを考え、主題を生成し、個性を生かして表現の構想を練っている。 「鑑」テーマをより効果的に表すための被写体や構図などについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態表」目に見えるものの奥にある真実を写真に表す創造的な諸活動に、主体的に取り組んでいる。 「態鑑」目に見えるものの奥にある真実を写真に表す作品を鑑賞する創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 40～41 鑑賞／映像メディア表現 状況に応じた情報発信－デジタルサイネージ－

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩、動きなどを生かした映像の効果、全体のイメージなどを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> 用いられる場面などに着目し、デジタルサイネージによる情報伝達のよさなどを感じ取り、表現の工夫や可能性について考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> デジタルサイネージによる情報伝達について鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」形や色彩の、動きなどを生かした映像の効果、全体のイメージなどを捉えることを理解している。	「鑑」用いられる場面などに着目し、デジタルサイネージによる情報伝達のよさなどを感じ取り、作者の主張や工夫、可能性について考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」デジタルサイネージによる情報伝達について、見方や感じ方を深める鑑賞の創造的な諸活動に、主体的に取り組もうとしている。

教科書 p 42～45 鑑賞／映像メディア表現 アニメーションの表現と技法

目標		
<p><b>知識及び技能に関する目標</b> 形や色彩、動きなどを生かしたアニメーションの効果、作風などを捉える。</p> <p><b>思考力、判断力、表現力等に関する目標</b> アニメーションの技法に着目し、表現の違いや効果、それぞれのよさについて考える。</p> <p><b>学びに向かう力、人間性等に関する目標</b> 制作技法に着目してアニメーションを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組む。</p>		
評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「知」形や色彩、動きなどを生かしたアニメーションの効果、作風、全体のイメージなどを捉えることを理解している。	「鑑」アニメーションの技法に着目し、表現の違いや効果、それぞれのよさについて考え、見方や感じ方を深めている。	「態鑑」制作技法に着目してアニメーションを鑑賞する学習活動に、主体的に取り組もうとしている。